

# おくり

平成二十五年 度 府中小学校つくし学級通信 第六号 五月二十日

自宅667-0021 八鹿町八鹿八〇二一 メール tonri129 @ myankansai.ne.jp.

TEL 〇七九 六六二一 二〇五一 携 〇九〇 四九〇四 五五五九

## 寺岡賢さんに聴く

- 人は力を出すから重荷を背負えるのではない。重荷を背負うから力がでるのだ。
- 幸せの種を蒔くと幸せの花が咲きます。不幸の花の種をまいていないでしょうか。
- 世直しは余直し。
- 偶然の偶然の重なりが必然。
- 学んでもいいことばかりは起こらない。でも、それをどう考えるかということとは変わる。
- 出会いを通して自分に出会う。
- 苦を喜ぼう、苦をいただいでいこう。
- 人は感謝した分だけ幸せになれる。
- 自覚しているものを叱るのは罪悪だ。

## 学校は、何の為に学び、何を学びとらるのか

府中元気塾で使う資料として、五、六年生にアンケートをとりました。

学校は勉強をするところです。それでは、次の質問に答えてください。

- 1 何のために勉強をするのでしょうか。  
 将来のため …… 41%  
 しっかりとした大人になるため …… 39%  
 仕事に役立つように …… 14%  
 その他 …… 6%

- 2 学校で何を勉強するのでしょうか。  
 教科 …… 53%  
 友達との関係 …… 19%  
 その他 …… 9%  
 …… 19%

さすが府中小学校の子どもたち、しっかりと考えています。どれも、確かな答えであると思います。これは、読まれてる皆さんは、どうお考えですか。私、次のように考えるのです。まず、1の「何のために勉強をするのでしょうか。」から考えましょう。「将来のため」も、「しっかりとした大人になるため」「仕事に役立つように」も正しいと思います。しかし、さらに、こう尋ねると、子供はこう答えるでしょう。「将来のため」と言っていますが「どんな将来にしたいのですか。」

「しっかりとした大人になるため」と言っていますが「しっかりとした大人になって、結局どうなりたいの。」「仕事に役立つよう」と言っていますが「勉強を仕事に役立てて、どうなりたいの。」

私は、次のように言えるのではないかと思います。「幸せな将来をのぞむ。」「勉強を仕事に役立てて、幸せになる。」「勉強をして、しっかりとした大人になりつまずき、次のようにいえるのではないかと思います。

「何のために勉強をするのか」  
 ↓「幸せになるために勉強をする」

では、2の「何を勉強するのでしょうか」の問いにはどう答えるのでしょうか。まず、「勉強は幸せになるため」にするのでした。では、「幸せになるため」には、「何を勉強すればいい」のでしょうか。たとえば、「幸せになるためには、お金持ちにならないといけない」と考えることも可能です。でも、「お金持ちの人は、全員、幸せですか。」と尋ねられたらどうでしょうか。幸せでないお金持ちは、たくさんいます。では、逆にお金持ちでない人は不幸せでしょうか。私はお金持ちではないですが、幸せです。つまり、幸せは条件や環境で決まるのではなくて、考え方で決まるのです。学校は、教科を学び、友達と過ごす中で、「考え方を学ぶのです。」

「何を勉強するのか」  
 ↓「考え方の勉強をする」